



平成23年 新春号 NO.43

<http://nepal-mika.jp>

特定非営利活動法人

ネパール・ミカの会

平成23年2月10日発行 194-0035東京都町田市忠生2-5-36 tel:042-791-0602



平成二十三年、年初におもう

理事長 齋藤 謹也



新しい年を迎え、会員、ご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げますと共に、又、ご縁をいただいて多くの方々とお出会うようにと念じます。

さて、ネパール・ミカの会は、いよいよ創立15周年に向けて歩み出しています。

ささやかな教育支援から始まった当会も、時と共に多くのネパールの人々と手と手を結ぶことができ、釈尊生誕地ルンビニに十数校と関わり、校舎を建て、子ども達と接することができ、かつ、ネパール族の古都タンセン市の小・中・高・大学の図書支援中心の支援と校長先生方との固い絆ができたように思います。

その他にカトマンドゥやイラムとの関係など支援の輪が広がっていますが、やはり「時」を かけ「心」をかけることが大切な事を実感しています。

そして「物転じて心になる」といわれますが、支援の金品・校舎建設が、ネパールの子どもの瞳（ミカ）に光を点ずるだけでなく、そのミカの光が私達にかえって、何よりも代えがたい 純心を与えてくれます。会運営について様々なご意見もあると思いますが、是非お智慧をおかし

ください。

本年は「卯(うさぎ)年」・内外ともに多事多難な時ではあります。それだけに例年にもまして、会員の皆様のご支援とご教示をいただいて、大きく跳躍して実りの多い年となるよう、理事一同頑張る所存です。

(追記)

(財) ひろしま祈りの石、ソロプチミスター町田一さつき等の諸団体や、個人の金品ご寄付、ボランティアの厚い志(奉仕)をかわらずお寄せいただき、御礼申し上げます。

2010 年度中間調査に行って

中野 千恵子

10月14日

羽田発、関空経由、バンコク経由で、カトマンズに入りました。一人旅なのでバンコクに宿泊しなくても良いルートにしました。

ただ、バンコクのトランジットが6時間あるのです。時間をどの様につぶすのかが一番の問題でした。時間はたっぷりあるのでウインドーショッピングと思ったのですが、まだ、朝5時前 お店は所々しか開いていません。シャワールームを見つけました。一番端までとことこ歩き、やっとありました。

14ドルと少し高い感じはしたのですが、時間つぶしには良かったです。シャワールームは三畳ほどの個室で荷物の置き場、鏡、バスタオル、バスローブもついています。又、元のところに戻り、搭乗口に行き本を読んだり、数ドクをしたりで出発まで待ちました。

カトマンズでは、タラップの下でスリジャナさんが待っていてくれました。一安心。やっと知り合いに会えたのです。ビザ申請をして空港外に出てラマさんと合流。タクシーでバイシャリホテルに向いました。ダサイン祭りの街中は道も空いていて、牛もノンビリ、ゴミをあさっていました。タメルの街中は欧米人の姿が見えます。バイシャリホテルも満室のようです。ラマさんとロビーで翌日からの打ち合わせをして、タメルの散策。今まで、行った事がない路地裏、ネパールで初めて出来たショッピングセンターでエスカレーターに乗ったり、ネパールの女たちの買い物を見て同じようにストールを調達しタメル地区に戻り民芸品下見をしました。

10月15日

バイラワ空港 10時15分着

今、募金活動をしているシリ シッダルト校を見学。学校の関係者、村の人々が待っていた。今、現在は8年生だが

高校までにしたとの事でした。協力していただきたいと申し出があった。教室も役場から借りてる状態です。日本の状況を説明し、ミカの会では、3年計画で造っていく旨を伝えました。次に近くのティナウ校に寄りました。JICAの2教室は建設中。余り変わってはいません。次に建設中のシリ ビバルハワ校見学。ダサイン祭りの飾りが道をふさいでいる為、通常の道は通れなくガタガタ道を遠回り。学校関係者、村の作業員など、20人位のひとが待っていた。校舎は50%ぐらい出来上がっていた。11月に屋根を終了予定。12月に回りのレンガ壁にセメントを埋め込み、床にはレンガ、コンクリートを引き、更にツルツルになるように仕上げるようです。2月中旬にペンキを塗り、下旬に完成予定です。雨が少し降ってきたが、ラマさんが村の作業員に賃金を渡していました。



次に候補校のシリ ジャナヒト校を見学しました。学校関係者が3人待っていたが、今まで、何年経っても建ててくれないのかと言っているようです。法華ホテルにチェックイン後に昼食。休憩後、ルンビニ笠井ホテル見学。まだ、全部完成はしていないが、明るく綺麗なホテルのようです。畳がついたスイートルームもあり、4人から5人は同じルームに泊まれます。食堂は洋室、和室もあり、工夫料理をだすようです。日本寺に登り、夕日見学。チベット族の人々がバスで来て、丁寧にお参りをして行きました。

10月17日

既支援校のマズワニ校、シリ シリ ラム校見学。2校共、かなり痛んでいたりと、ドアが壊れていたり修繕が必要です。候補校のバララムルブ校へ車を走らせるが、誰も行ったことがなく、道が判らなくガタガタのぬかるみも有る道を30分以上走り、やっとたどり着きました。ルンビニからは直線では近いらしいが川に橋がない為に遠回りをするしかないのと事です。3階建ての小、中、高校で生徒数は1046人。教室は11教室あるが、1教室に90人~100人入れるようです。村は広くて子供も多く、村には学校が一つなので、教室が足りないとの事でした。既支援校のヤナトラハ校、スンディ校、シリ アジリアリ校を訪問。

図書館、教室が欲しい修理をして欲しい等と要望されました。

候補校のシリ タルサ校に車を走らせたが、悪路でぬかるみにはまり、断念しました。昼食後、既支援校のアマリ校を訪問。以前からある校舎が痛んでいるので修理、補強をし、ミカの会で建設した校舎にくっつけて欲しいと要望されましたが、難しく無理の感じがします。既支援校のマヤデビ校訪問。ミカの会で建てた校舎が綺麗なクリーム色になっていました。村の予算と学校所有のマンゴウ畑の収入でおこなったと話していた。やはり、図書室要望。ルンビニ公園近くに戻り、ダサイン祭り見学しました。大勢の村人が広場に集まり、お酒や食べ物を売っていて楽しそうです。芝居小屋もあり近くに出演する象もいて、皆の注目の的でした。偶然に会った村の村長 スグリブさんに寺子屋の運営状況を聞きましたが、今はダサイン祭りで休みですが常時、職員一人がいて活動しているようでした。祭り見学後、公園近くのゲストハウスを見学。簡素なベッドが置いてあるだけの部屋です。

10月18日

カピラ城に向け、車を走らせる。片道28キロ。真っ直ぐなガタガタ道。どこかに掴っていないと頭が車の天井にぶつかってしまいます。道端に色とりどりの睡蓮が咲いているが、写真を撮ることも出来ない。やっと、カピラ城に着いたが、管理はされていなく荒れている。残念です。帰りに笠井ホテルで遅い昼食をいただきました。美味しい日本食でした。食後、又、シリ タルサ校に車を走らせるが、こちらの道も寸断されていて、諦める。

10月19日

ルンビニ公園見学しました。その後、バイラワ飛行場に向け出発し途中で既支援校のグルワニマイ校に立ち寄りしました。図書館の本は少なく感じました。生徒は本を読む習慣がない為、授業の中に練り込んでいるようです。部屋の中には、いろいろな写真が展示してあり、ミカの会で行った運動会や訪問したときの写真もありました。屋根の時計はまだ壊れたままです。気温が高いのが原因のようです。校舎の上にはコミュニティセンターを建設中です。ダサイン祭りの為、連絡が取れなかったルンビニ小を除いて全部回ってきましたが、学校が休みなので子供達には会えませんでした。

最初の頃、建設した既支援校はどこも修理が必要と感じましたし、図書館、教室が欲しいとの要望が多くありました。

10月20日

午前中 カトマンズから20キロにあるカカニまで行きました。ヒマラヤの山々が見えるはずでしたが、雲がかかっていましたが、マナスルだけは見えました。今の所は良いホテルはないのが、残念です。いつか、ホテルが出来る事を期待して戻りました。午後は民芸品調達です。ネパールに来た日と昨夕に下調べをしていたのですが、価格交渉は大変です。夕方、ラマさん一家と食事をしました。ラマさんの愛娘のヤンチェンちゃんは可愛く楽しいひと時を過ごせました。

10月21日

今日は帰国日です。朝、足りない民芸品をラマさんが来る前に調達。長い日にちのような気もしたし、あつという間の感じもします。ダサイン祭りであった為にカトマンズ

もルンビニも道は空いていたのですが、いろいろのところも休みでした。そして、私が一人だったので、ラマさんも気を使った事でしょう。無事に中間調査が終わった事でラマさんに感謝しながら、帰国の途に着きました。

ネパールの学生と会話して

・・・ルンビニ、タンセンを訪問・・・

新川 恒夫

ミカの会会員になって10年。ルンビニ、タンセンはまだ訪れたことがなく、正月休みを利用して現地の状況を見てきました。

今回は増築中のビラルハワ小中学校、マズワニ小中高校を主に見せてもらいました。

今回の訪問に先立ち、ネパールの教育制度を予習してきました。その中で注目したのが、SLC と呼称される試験制度でした。もう既に御存知の方もおられると思いますが、簡略に説明しますと、この試験は高校卒業後に受験するもので、大学に進む場合、公務員、教員を希望する場合に必ず合格しておかなければならないものです。ビラルハワの職員室の教員名簿にも、SLC、カレッジなどと学歴が記載してありました。この話に関しては後程改めて述べてみたいと思います。

ビラルハワでは、思いもよらない歓迎を受け、小学校から順に見学させて頂きました。中学校のクラスで、英語で色々質問をぶつけてみました。最初はもじもじとして返事が返ってきませんでしたが、周囲に促されて少しずつ話してくれました。質問は、「どんな教科が好き?」「家では何時間くらい勉強するの?」「お母さんの手伝いはするの?」「日本についてどんな事を知っていますか?」「自由な時間はどんな事をして過ごすの?」などでした。それ以外では、家人の仕事、兄弟の数なども尋ねてみました。答えとしては、「好きな教科は英語、社会、数学、家庭では食事を作る手伝いをする、家では2、3時間くらい勉強する、又日本に関しては情報が少ないせいか殆ど何も知らない様子、又余暇には音楽を聴く」などの返答でした。

又、家の仕事では洋服の仕立屋という男子が一人居て、将来君も同じ仕事をしたいかとの質問に、はにかみながら「イエス」と答えたのが印象的でした。



マズワニでは主に高校2年生と将来の夢について話してみました。この学年になると英語力もかなりついてきているようでした。希望する職業としては、男子ではエンジニア、教員が目立ち、女子では看護婦が多く、医師、教員もいました。女子では教員志望という返事がなかなか聞かれず、やっと教員という返事が返ってきた時に、先生が胸をなで下ろすようなジェスチャーを示し、教室全体が笑い声に包まれて和やかな雰囲気になりました。また「カトマンズで勉強したいか?」の問いには、「No」が殆どで「ブトワル」と答える生徒が多かった気がします。(ブトワルはルンビニから一番近い大きな町。)

この後、教員と懇談する中でSLCの件についても質問してみました。今年は高校ができて30人くらいが初めて受験するとのこと。合格率はどれくらいを予想しているのかの問いには、70%くらいとの返事。ネパール全体で55%くらいの合格率の中で、70%はかなり高い数字。自信はあるのかの問いには自信はあるとの答え。ラマさんの意見では30%くらい合格できれば良い方ではないかとのことでした。

ラマさんと話すうち、生徒は参考書、問題集も全く持っていないことが分かり、これでは余計合格も困難と考え、早速対策を練りました。予想・過去問題集はカトマンズの本屋では売られていると知り、カトマンズに戻り次第購入の上、ルンビニに届けてもらうことに決めました。確かにカトマンズの本屋には数種売られており簡単に手に入りました。

訪問を終えて考えたこと。

小中学校の教育支援を入口戦略とすれば、高校卒業生の進路を支援することは出口戦略と考えられます。卒業生が先生としてルンビニに戻ってきてくれれば人的な循環も生まれてきます。

その中で教育のレベルもアップすれば、大学が誕生する可能性もあると思います。そんな事を考えながら2011年の元日を迎えました。

尚、タンセンでも大学生と話す機会がありましたが、紙面の都合で割愛させていただきます。

シッダルタ募金プロジェクトの経過報告と工事計画変更のお知らせ

実行委員長 穂坂 光紀

1人ひとりからのご支援によってシッダルタ小中学校に校舎を建設する「シッダルタ募金プロジェクト」は多くの方からご支援・ご協力をいただきまして第1期工事の目標額である100万円を達成することができました。本当にありがとうございました。

ご支援頂きました建設資金100万円は平成22年12月にネパールに送金が完了しております。今年3月に行われる第14次教育支援の旅において現地を視察し、ラマ理事との協議のうえ工事着工時期を決め、順次工事を進めていく予定です。

また、今回のシッダルタ募金プロジェクトでは「校舎4教室の増設」を工事計画としておりましたが、現在ネパール国内の建築資材が高騰し続けていること、シッダルタ小中学校の敷地面積が工事計画に対してギリギリであるなどの事情により、4教室の増設は困難ではないかとネパールのラマ理事より報告がありました。



このプロジェクトはみなさまからのご厚意によって成り立っておりますので、できる限り当初の計画どおりにプロジェクトを進めるべきですが、第1期工事において校舎の基礎を造る関係上、4教室分の基礎を造った後に最終的に教室の建設資金が不足するような事態だけは避けたいとのことから、理事会の協議によって工事計画を以下のように変更させて頂きました

募金プロジェクトは変わらず行ってまいりますので、ご支援頂きましたみなさまには、ご理解と今後の目標達成に向けてのご支援をよろしくお願いいたします。

【シッダルタ募金プロジェクト 工事計画】

- ① 総工費 260万円→260万円 (変更なし)
 - ② 建設目標 既存5教室に4教室増設→3教室増設
- ※ただし、増設する教室の広さは当初計画の教室より多少広くします。

第1期でいただいた支援金はシッダルタ小中学校3教室増設目標のうち、基礎の部分と柱、屋根を造るために充てられることとなります。また進展がある都度みなさまにご報告をさせていただきます。

ミカの会の理念である「ゆっくりと ささやかに 心を込めて 手から手へ」という想いを形にしたい。ゆっくりで良いから、どれだけ時間がかかっても、1人ひとりの想いを集めて、みんなの力でレンビニに校舎を造りたい。そんな想いから始まったシッダルタ募金ですが、少しずつ実現に向かって動いています。みなさまの気持ちがネパールという小さな国のレンビニという場所に住む子供達に確実に届きます。世界は助け合いで成り立っています。

平成23年4月から第Ⅱ期スポンサー募集が始まりますので、みなさまの温かいご支援を宜しくお願いいたします。

事務局便り

厳しい寒さが続いております。

インフルエンザ、スギ花粉等心配な要素も沢山ありますが、お元気でお過ごしでしょうか？
ネパール・ミカの会総会までの主なイベントをお知らせします。

3月27日(日) 町田中央公園さくら祭り 於 サン町田旭体育館 10:00-17:00

3月22日(火)~31日(木) 第14次教育支援の旅

5月07日(土) ボラ連協福祉バザー 於 ぽっぽ町田 10:00-15:00

5月14日(土)・15日(日) 相模原市民若葉まつり 於 相模原市役所周辺 10:00-17:00

5月21日(土) H23年度定期総会 於 町田市民ホール第4会議室 17:30- 総会終了後、懇親会

編集後記

冬の寒い朝、時々ネパールにいるような気がします。

景色は全然違うのですが、ちょっと霞がかかって、弱々しい太陽の光の中からも無くガソリンの匂いが漂ってくる・・・そんな時、自分がカトマンズの裏路地にでもいるような気がします。

ああ、ネパール行きたいなあ。と思いながら、今日も元気に会社へ向かうのでした。

皆様、寒い冬もあと少し！どうぞご自愛ください。

T・N